

伝統工法「硫化いぶし仕上げ」で 侘び寂びの世界を演出



代表取締役
三田 雅憲氏



京都国立博物館でも採用された
硫化いぶし仕上げ



株式会社光栄プロテック
枚方市春日野2丁目2-12
☎072-859-1365
業種/金属製品の塗装、
特殊表面処理

— 御社の事業内容を教えてください。

金属製品の高級塗装や特殊表面処理に幅広く携わっています。たとえば、硫化いぶしや緑青、赤錆仕上げは寺社仏閣など日本古来のたたずまいに用いられて侘び寂びの世界観を醸し出しています。

一方、近代的な内装ではエレベータドアや内装パネルなどにピアノ調やカラークリヤー仕上げを施して高級感と華やかさを演出しています。そうした特殊塗装を職人の手作業で行ってお客様のイメージされた景観を作り出すことが当社の仕事です。

最近では、アルミを石のように見せる石目調仕上げやリン酸処理風塗装の技術も完成させました。

— 御社が得意とされる「硫化いぶし仕上げ」とはどのようなものですか？

真鍮や銅など銅合金の着色方法の一つで、銅合金が経年変化によって表れる茶褐色の表面意匠を人工的に促進した加工仕上げのことです。

意匠性の高い銅合金製の建築金物の表面に硫化ペーストを塗布し、色の調整を行ったのち、クリヤー塗装を行って仕上げます。大型製品や水抜き穴が開けられない銅合金製品の着色に有効です。

当社は「硫化いぶし」工法によって建築の内外装金物やカーテンウォール、ドアサッシ、エレベータドア、車両などで数多くの実績を持っており、その高級感是他の金属意匠の追随を許しません。

また、銅合金に施される硫化いぶしの風合いをステンレスやスチール、アルミ素材の仕上げとして再現したのが「硫化いぶし色仕上げ」と呼ぶ工法です。銅皮膜をコーティングして加工したのち本硫化と同じ乾式硫化ペーストを塗布しますので、硫化いぶしに近い色合いに仕上げることができます。

— 2014年には東京に進出されましたね。

市場開拓による会社の発展と伝統技術の継承という2つのことを同時に進めるためでした。今後、社員が会社を通じて未来の生活基盤を固めていくには、優良な顧客をたくさん獲得しなければなりません。そのためには関東圏にも当社の商圏を広げる必要があったのです。

また、職人の高齢化によって、硫化いぶし仕上げなどの伝統的な技術が、関東地区で途絶えてしまう恐れもあった。当社の道下正治会長をはじめとする先輩方が守ってきた硫化の技術の灯を消してはならないとの思いもありました。

首都圏でも認知された会社として社会に役立つ企業になり、未来を担う若者が精一杯仕事に打ち込んでプライドを持って働ける環境を整備したいと考えています。

— 今後の方針をお聞かせください。

財務力や設備力、営業力など基礎体力をより筋肉質にして人材育成を推進したいと思っています。人材が育てば新たな分野への参入も可能になるからです。

「企業経営を通じ、お客様の信用・信頼を最も重要なものと位置づけし、社員一同が切磋琢磨した結果、お客様とともに発展していきける企業を目指す」という当社の基本方針を守りつつ、伝統工法を継承していきたいと思っています。